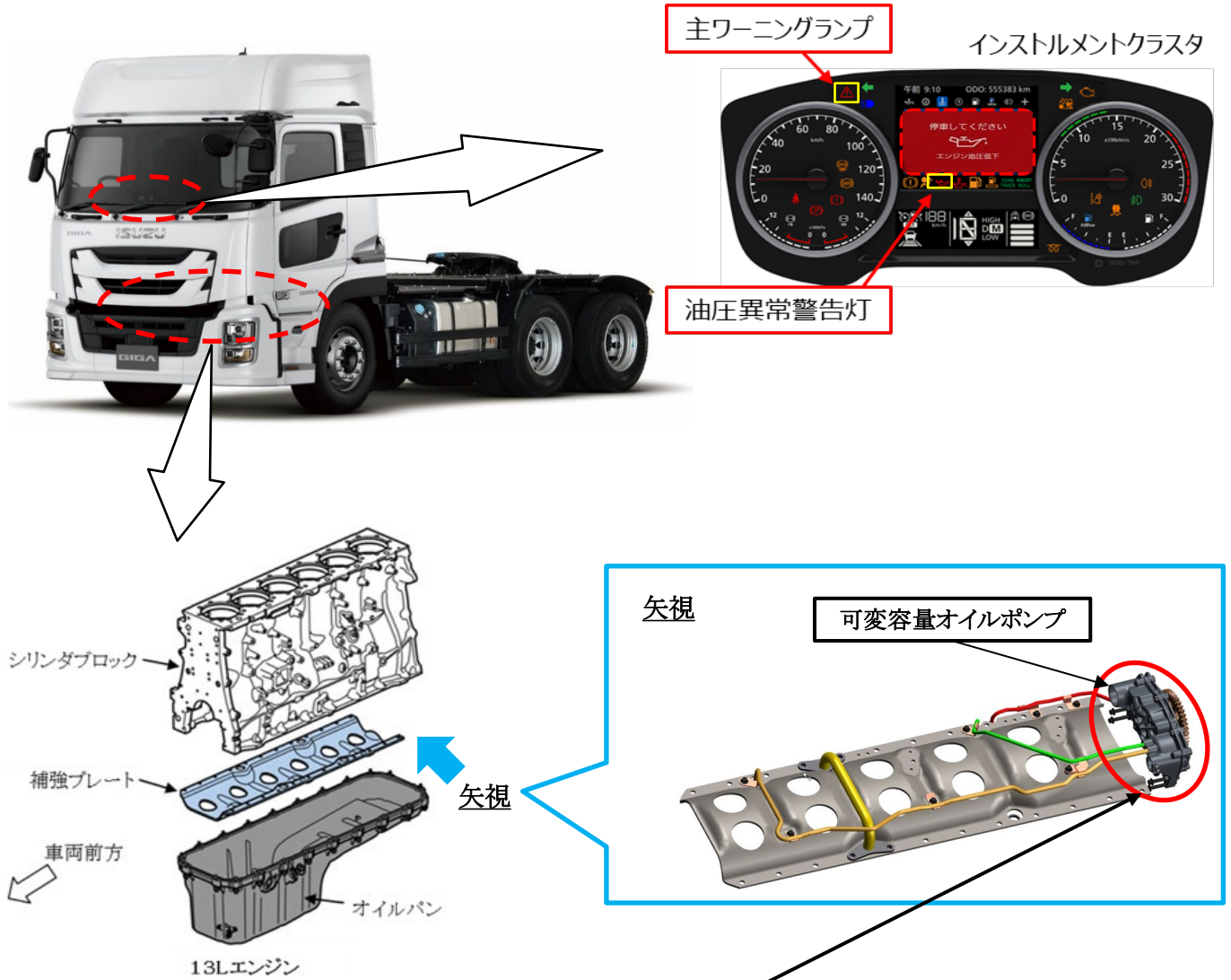


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

可変容量オイルポンプにおいて、可変部のステータ（固定子）に採用した材質の耐久性検証が不十分であったため、運転状況に応じて油圧制御を繰り返すことで、ハウジングカバーのステータ摺動面が損傷・摩耗することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、適正な油圧が確保できず、インストルメントクラスターに「エンジン油圧低下」の警告メッセージの表示及び警告灯の点灯とともにエンジン出力が制限され、さらにそのままの状態で行くと、エンジンが焼き付き、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、オイルポンプを対策品へ交換するとともに、オイルコントロールバルブへの油路を変更する。

注： は交換する部品を示す。

識別：各社インターネットホームページのリコール等対象車両検索結果に“実施済”と表示する。